拠出金名：中東淡水化研究センター基金拠出金

国際機関等名	中東淡水化研究センター (英文名称・略称) Middle East Desalination Research Center (MEDRC)				
種別	国連(事務局)	国連(基金・計画)	国連専門機関	その他	
所管官庁担当局課名	外務省中東アフリカ局中東第一課				
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成22年度	7,520	80		1米ドル = 94円	100
平成21年度	-	-		-	-
平成20年度	-	-		-	-
当該拠出金の目的・用途等	中東の水分野におけるキャパシティ・ビルディング研究開発助成金など				
拠出上位5ヶ国・地域・機関等 (2010年までのもの)				国際機関等の財政 (2010年度決算)	
	国名	金額 (千ドル)	拠出率(注) (%)	当該年度の収入	2,304千ドル
1位	オマーン	6,720	22.0	当該年度の支出	2,003千ドル
2位	米国	5,935	19.5	次年度への繰越	301千ドル
3位	イスラエル	3,600	11.8	会計検査機関名	
4位	蘭	3,565	11.7	Grant Thornton Oman	
5位	カタール	3,250	10.8	(現在の構成員の出身国：米、蘭など)	
日本は6位、拠出率10.4%					
当該機関等に対する我が国としての評価 (合理化、機能強化のための改革が行われているか、当該機関等の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)					
MEDRCは、1996年に中東和平多国間協議の水資源作業部会の枠組みで設立され、「淡水化に関連する基礎研究及び応用研究の振興や、淡水化の技術的な工程を改善することにより、中東和平プロセス並びに中東及びその他地域の人々の生活水準の向上に貢献すること」をねらいとしている。また、中東和平プロセスのコアパートナーであるイスラエル、パレスチナ双方をメンバーとし、これらの信頼醸成を後押しするものとして非常に有益。現時点の加盟国は、オマーン、米、蘭、イスラエル、カタール、日本、韓国、西。MEDRCは近年、事業の効率化及び持続可能的組織として強化をはかるため、自立的な淡水化・排水利用に関する研修施設を設立する構想などを打ち出している他、予算のスリム化・効率化にも務めている。我が国としても、水分野に関するノウハウや専門家の意見を反映しつつ、同組織強化に貢献したい考え。					
邦人職員数 うち幹部以上	0人 うち0人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	13人 0%		
邦人職員が占めている幹部ポスト					
ポストの名称	職員氏名	備考			
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画					
なし					

(注) 我が国と各国とは会計年度が異なるため、拠出率については暦年となっている。